

インフルエンザ情報 2013 年 第 8 週 (2 月 18 日 ~ 2 月 24 日)

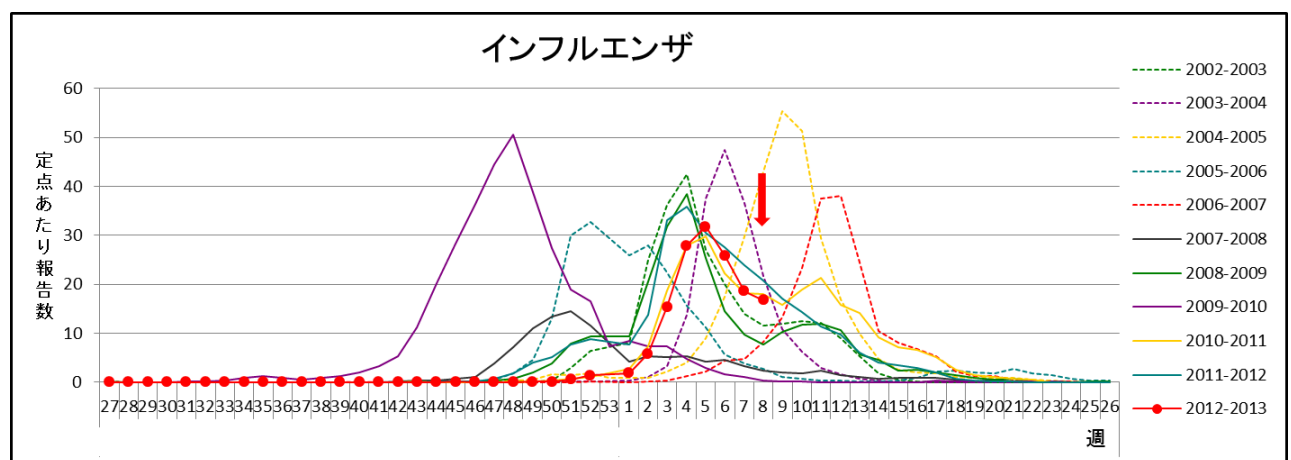
岡山県は「インフルエンザ警報」発令中です。

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で 1,410 名 (定点あたり 18.58 → 16.79 人) の報告があり、3 週つづけて減少しました。岡山県は『インフルエンザ警報』を発令し、ひきつづき注意を呼びかけています。
- インフルエンザウイルス AH3 型、B 型 (山形系統)、B 型 (ビクトリア系統) 各 1 株が検出されました。
- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 47 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者 11 名の報告がありました。

【第 9 週 速報】

- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 53 施設でありました。(2 月 25 日~2 月 28 日まで)
- ▽岡山市 21 ▽倉敷市 11 ▽備前地域 9 ▽備中地域 4 ▽備北地域 5 ▽真庭地域 0 ▽美作地域 3



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で 1,410 名 (定点あたり 18.58 → 16.79 人) の報告があり (84 定点医療機関報告)、3 週連続で減少しました。岡山県は『インフルエンザ警報』発令中であり、ひきつづき注意喚起を凶っています。多くの地域で患者は減少しましたが、依然として、倉敷市 (30.56 → 28.69 人)、備中地域 (22.50 → 18.75 人)、真庭地域 (26.00 → 10.67 人)、では大きな流行が継続していると思われる発生レベル 3^{*}が、岡山市、備前地域、備北地域、美作地域では流行が継続していると思われるレベル 2 がつづいています。

第 8 週の学校等の臨時休業は 47 施設から報告があり、前週より増加しました。ひきつづき幼稚園児・小学生・中学生を中心とした集団の中での感染に注意してください。

患者は減少傾向にあるものの、依然として流行期にあります。感染予防を心がけ、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。また一度インフルエンザにかかっても、型の異なるインフルエンザウイルスに再びかかることがありますので注意が必要です。

※発生レベル 3 の開始基準を一度超えると、終息基準値 (10.00 人) より下がらないと、レベル 3 は解除されません。

◆ インフルエンザは流行期に入っています。さらなる感染予防に努めて下さい。

【 インフルエンザにかかったら 】

- 家に帰ったら、手洗い・うがいをしましょう。
- 人混みに入る時は、マスクを着用しましょう。
- 十分な睡眠、バランスの良い食事などに気を付けて、抵抗力をつけましょう。

【 かかったかな? という時は 】

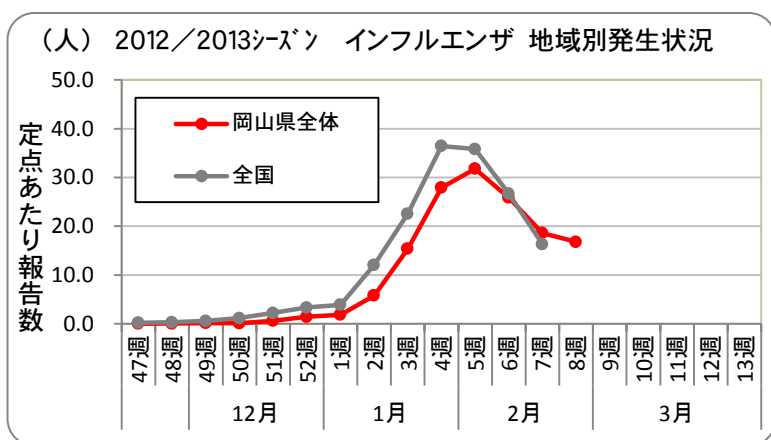
- 早めに医療機関を受診し、確実に治療しましょう。
- できるだけ昼間に受診し、必ずマスクを着用して受診しましょう。
- 周りの人にうつさないように「咳エチケット」を心がけましょう。

1. 地域別発生状況

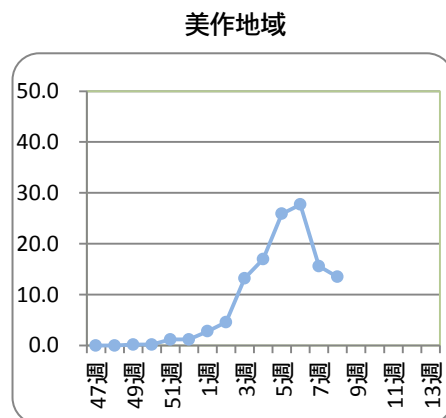
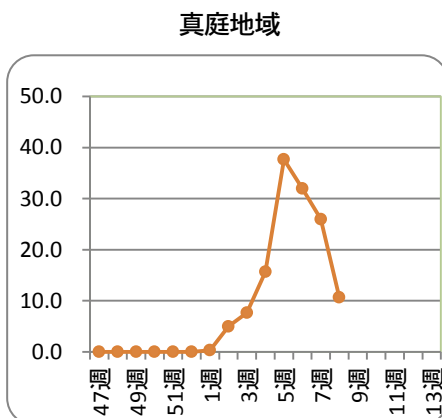
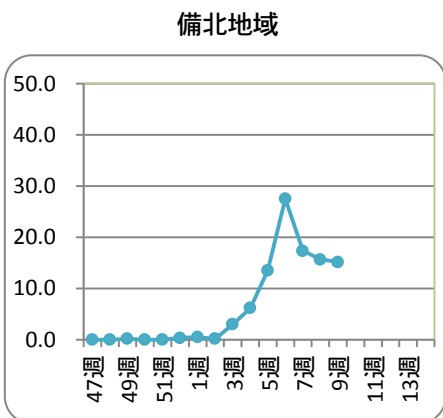
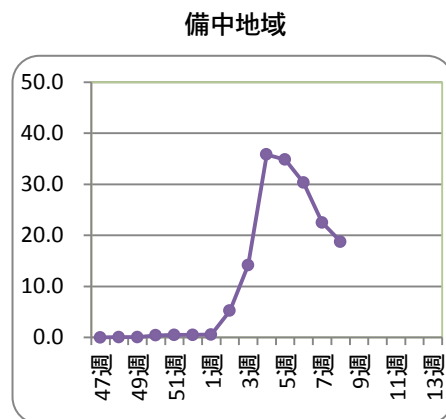
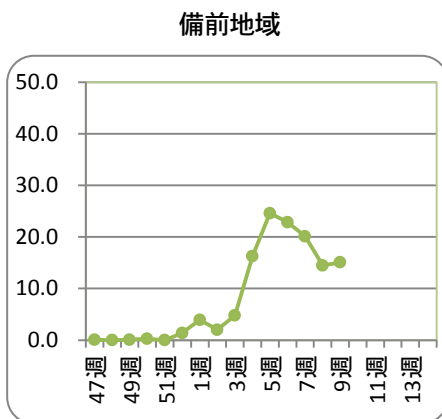
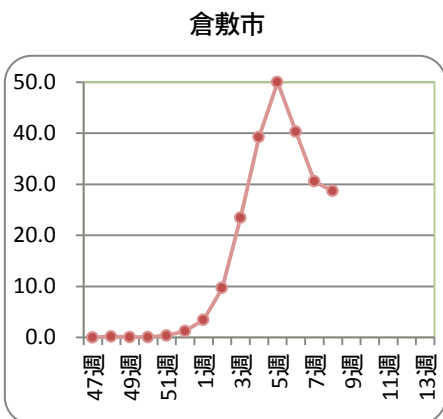
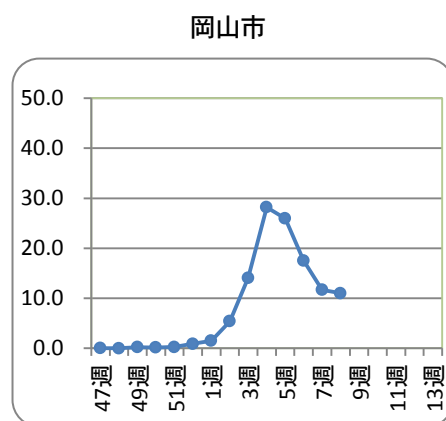
第8週(2/18~2/24) 前週からの推移(単位:人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	1,410	↓	備中	患者数	225	↓
	定点あたり	16.79			定点あたり	18.75	
岡山市	患者数	242	→	備北	患者数	91	→
	定点あたり	11.00			定点あたり	15.17	
倉敷市	患者数	459	→	真庭	患者数	32	↓
	定点あたり	28.69			定点あたり	10.67	
備前	患者数	226	→	美作	患者数	135	↓
	定点あたり	15.07			定点あたり	13.50	

【記号の説明】 前週からの推移: 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →
 1.1~2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑

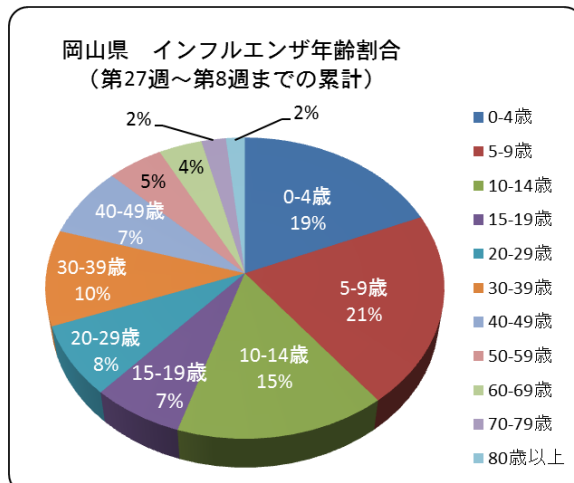
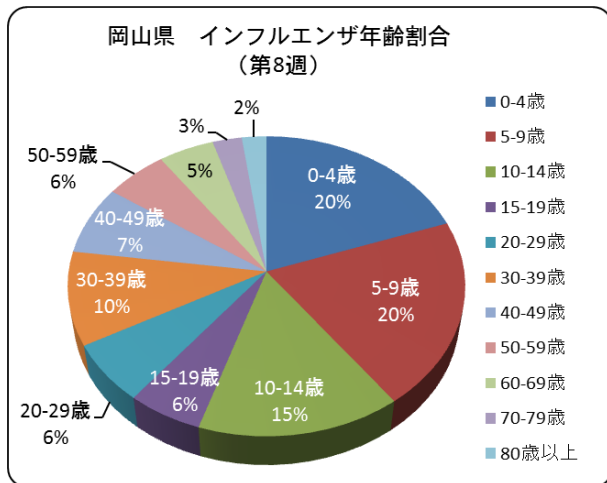
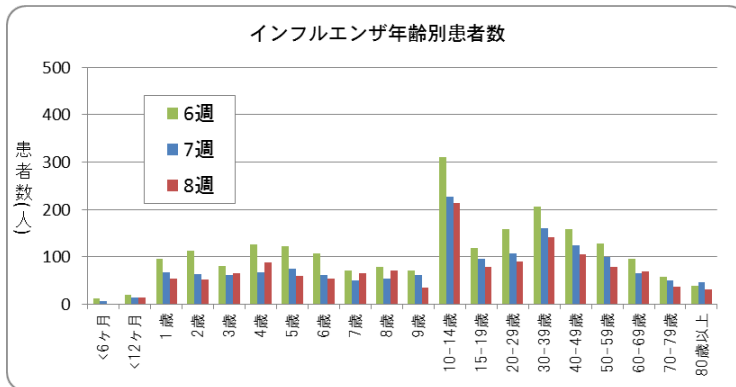


全国集計第6週(2/4~2/10)の定点あたり患者数は26.70人となり、前週(35.82人)よりも減少しました。定点あたり報告数の全国値は第4週をピークに2週連続で減少し、44都道府県で前週より減少しました。

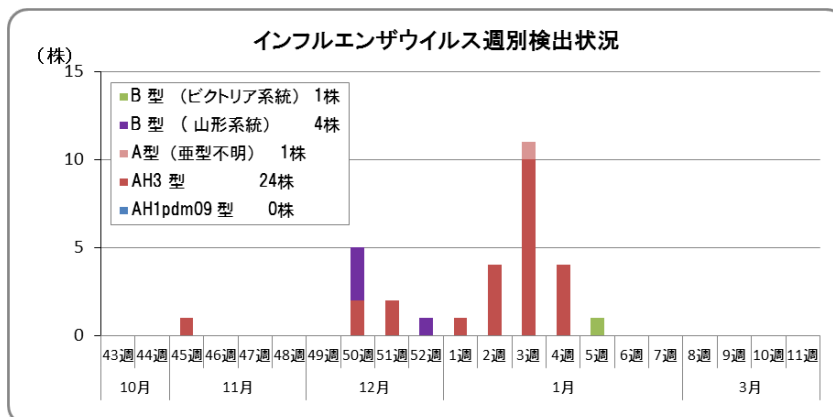


2. 年齢別発生状況 第8週 (2/18~2/24)

第8週の患者の年齢割合は0-4歳と5-9歳が20%、10-14歳が15%の順でした。15歳未満の幼児・幼稚園児・小学生・中学生に該当する年齢層が患者の55%を占めており、ひきつづき集団生活の中での感染に注意してください。



3. インフルエンザウイルス検出状況 第8週 (2/18~2/24)



第8週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、県内で発生した散発事例から、AH3型が1株、B型(山形系統)が1株、B型(ビクトリア系統)1株が検出されました。これまでに検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が24株、A型(亜型不明)が1株、B型(山形系統)が4株、B型(ビクトリア系統)が1株です。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が最も多く89%、B型が9%、AH1pdm09型が2%の順になっており、昨シーズン同様AH3型が主流になっています。

[\(インフルエンザウイルス分離・検出速報 国立感染症情報センター\)](#)

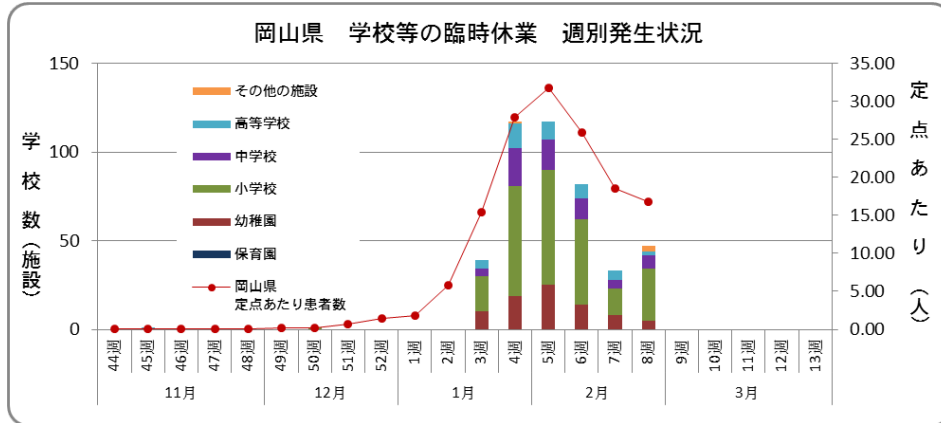
ウイルス名	検体採取週	検体採取日	地域	年齢	性別	備考
インフルエンザウイルス B 型	2012 年第 52 週	2012 年 12 月 28 日	笠岡市	小学生	女	山形系統
インフルエンザウイルス AH3 型	2013 年第 4 週	2013 年 1 月 26 日	井原市	幼児	男	
インフルエンザウイルス B 型	2013 年第 5 週	2013 年 2 月 1 日	玉野市	幼児	女	ビクトリア系統

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第8週 (2/18~2/24)

インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 47 施設でありました。

◆第8週 臨時休業施設数

▽岡山市 15 ▽倉敷市 6 ▽瀬戸内市 3 ▽井原市 3 ▽総社市 2 ▽井原市 2 ▽浅口市 2 ▽高梁市 2
▽新見市 2 ▽津山市 2 ▽備前市 1 ▽玉野市 1 ▽和気町 1 ▽吉備中央町 1 ▽早島町 1 ▽里庄町 1
▽美作市 1 ▽勝央町 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳 第8週

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	550	6034	396	4480	47	437	4	17	11	136	32	284	H 24. 11. 6
岡山市	204	2130	146	1554	15	141	1	2	3	21	11	118	H24. 11. 6
倉敷市	82	1441	52	1032	6	84	0	1	0	13	6	70	H25. 1. 15
備前地域	52	712	43	544	7	62	0	3	2	29	5	30	H25. 1. 15
備中地域	120	890	94	725	11	76	0	4	4	33	7	39	H24. 12. 12
備北地域	26	217	21	171	4	23	2	3	1	15	1	5	H25. 1. 21
真庭地域	0	99	0	68	0	8	0	1	0	5	0	2	H25. 1. 21
美作地域	66	545	40	386	4	43	1	3	1	20	2	20	H25. 1. 15

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています

2) 臨時休業施設数の内訳

第8週：47 施設

累計：437 施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	5	81	29	240	8	67	2	45	3	4

◆ インフルエンザによる出席停止期間が改正されました。

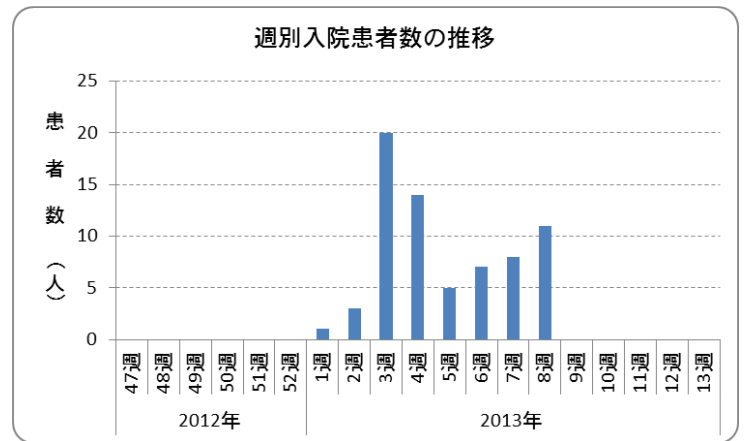
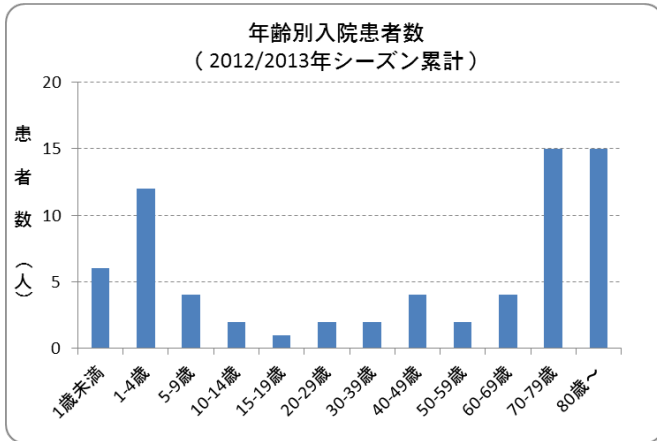
平成 24 年 4 月 1 日より、学校保健安全法施行規則が一部改正され、インフルエンザの出席停止期間が「解熱した後 2 日を経過するまで」から「発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日(幼児にあつては、3 日)を経過するまで」に改正されました。水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

※ [学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について\(通知\)](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数 第8週 (2/18~2/24) (県内基幹定点 5 医療機関による報告)

インフルエンザによる入院患者は11名(幼児3名、60代1名、70代2名、80代5名)の報告がありました。10歳未満の幼児、70歳以上の高齢者で入院患者が増加しています。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第8週 入院患者報告数】

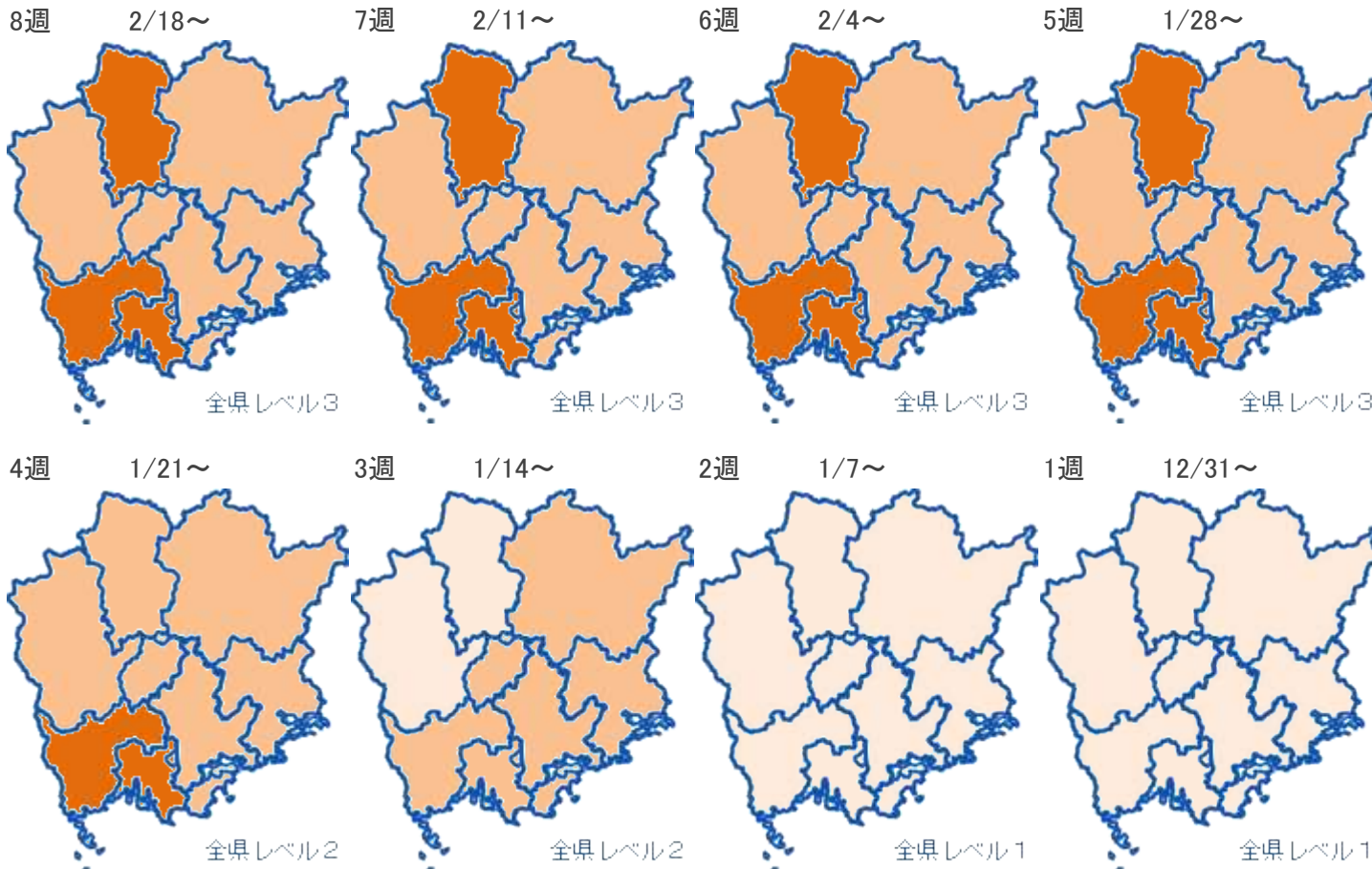
年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1	2								1	2	5	11
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)		1											1
頭部MRI検査(予定含)		1											1
脳波検査(予定含)		1											1
いずれにも該当せず	1	1								1	2	5	10

*重複あり

【平成24年9月3日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	6	12	4	2	1	2	2	4	2	4	15	15	69
ICU入室										1			1
人工呼吸器の利用							1			1			2
頭部CT検査(予定含)		3	2	1	1	1	1				2		11
頭部MRI検査(予定含)		3	1		1		1						6
脳波検査(予定含)		1					1						2
いずれにも該当せず	6	8	1	1		1	1	4	2	3	13	15	55

*重複あり



インフルエンザ

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
30	10	10 以上 30 未満	0 < 10 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。